

シティ・ミーティング(ワイ！ワイ！GIKAI)で出された主な意見

【教育民生常任委員会】

日時: 令和5年1月18日(水)

場所: ユマニテック短期大学

	高校生	委員
	テーマ: 就学前教育・保育について	
	Aグループ	
1	保育士の初任給は手取りで13～14万円程度であり、生活が大変であるため、もっと給与を上げてほしい。理想を言えば看護師と同様に初任給を30万円程度にしてほしい。	保育職はその大変さや社会的な重要性と給与が見合っていない状況であるため、給与が上がっていくよう、議会や行政としても考えていく必要がある。
2	実習先で担当した児童が乱暴で殴ったり嘔んだりされた際に、現場の先生からのフォローはなく、相談もできなかったため、どのように対応したらよいのか分からなかった。	園にあらかじめマニュアルや方針などがあればよかったのではないかと考える。
3	実習先の先生が子供の体を強く押さえつけるような指導を行っており、これでよいのか疑問に思った。	ご意見として承る。
4	授業で学んだ理想と現実には大きく異なる部分があり、それを理由に保育職を諦める人もいた。	ご意見として承る。
5	現在は大学の先生に相談しているが、実際に働いてからの相談窓口があると良いと思う。また、相談窓口には、職場での立場やプライバシーに配慮しつつ、解決に向けて対応してくれるところまで求めたい。	新たに設置する幼児教育センターは現職の保育士等を対象に訪問・相談支援を行う予定であるため気軽に活用してほしい。
6	幼児教育センターでは園の運営を担う管理職への研修も行ってほしい。	管理職に特化した研修をはじめ、職種や経験年数に応じた研修を行うよう議会からも伝えていきたい。
7	不適切保育を防止するために教室にカメラを設置すればいいと思う。	公立園では入口等に防犯カメラを設置しているが、教室へのカメラの設置は聞いたことがない。私立園では独自に設置しているところがあるかもしれない。
8	子供が好きで保育士を志したが、こんなに大変な仕事とは思わなかった。	現場で大変なことがあった際にバックアップするための相談体制を構築していく必要がある。
9	就学前教育・保育や学童保育などの分野では民間委託が進んでいるが、そのことによる弊害も生じていると感じるため、もっと行政が積極的に関わってほしい。	行政も人手不足や効率化を目的に民間委託を進めた背景があると考えられる。
10	(今回の意見交換について) ・市議会議員の方と話し合う機会は減多にないため、話ができて良かった。 ・自分の実習先では理想的な保育を行っており、悪いところがなかったため、逆にそうではない保育の話を開けて良かった。 ・保育士である母親に今回の意見交換のことを話したところ、現役の保育士の声も聞いてほしいと言われた。	ご意見として承る。
	Bグループ	
11	(大学の学習環境について) ・施設が新しく綺麗で、ロビーには自由に弾けるピアノが設置されているなど、本当に学習環境が整っていると感じる。 ・一人一人の学生に対して細かな配慮をしてもらえることはありがたい。 ・先生が講義を分かりやすく教えてくれていることは良いと思う。 ・発表、グループワーク、実践などの機会も多く、現場に使える力が早く身に付いた。 ・先生の手厚いサポートがあったおかげで就職先を決めることができた。	ご意見として承る。
12	(現在悩んでいることについて) ・自分自身が先生になることの想像ができず、長く続けられるか心配である。 ・数年間は別の仕事に就いた後に保育職に就こうと考えているが、途中で採用されるのか、実際に働けるのかなどは不安である。 ・就職先の人間関係がうまくいか不安である。 ・就職先はレベルの高い理想的な保育園であるため、そこで働く先生のような対応が自分にもできるか不安である。 ・基本給だけで生活できるか不安である。圧倒的に多い業務量と給与があまり見合っていないようにも感じる。	ご意見として承る。
13	(私立・公立を選んだ理由について) ・結婚や出産を期に早期退職することも想定したため私立を選んだ。 ・子供の自主性を尊重する公立の方針が良いと思ったが、日誌等の書類業務が多く休みづらいと聞いており、就職先は比較的ゆとりがある印象の私立から探した。 ・見学した際の雰囲気も良く、自分に合いそうな園が私立であり、知り合いの現役保育士からも公立よりも私立の方が合いそうとのアドバイスを受けたため、私立を選んだ。 ・就職説明会で公立は自由度があまり高くない印象を持ち、教育に強い方針を持つ私立の方が自分のスキルが生かせると感じたため、私立から就職先を決めた。	ご意見として承る。
14	給与に反映されない持ち帰りの仕事は何となくしてほしい。	保育者の心の状況は接し方などを通して子供にも伝わると考えるため、保育士が心の余裕を持てるような労働環境は必要と考える。
15	折り紙や画用紙などの材料は園から十分に支給されず、自腹で購入することがあると聞いているため、自治体が材料を現物支給したり、材料費を補助したりする仕組みがあると助かると思う。	業務に関するものを自腹で購入しなければならないことは問題である。職場によっては旧態依然とした環境が残っていると推察するため、現在に適したものに変わっていく必要がある。